

## [特別対談]

地域農業の活性化を目指す

マスターズ  
**Master's**



つくばみらい市長

**小田川 浩**



マスターズ会長 東郷 直樹さん



小田川市長

今回の特集では、新たに立ち上がった農業経営者の団体「マスターズ」の皆さんと小田川市長が、農業のこれからについて対談を行いました。その様子をお伝えします。

市長 今回の特集は新たに立ち上がった農業経営者団体「マスターズ」の皆さんにお集まりいただきました。農業だけに限らず、いろいろな意見、アイデアをお聞かせいただきだと思います。では、まずは簡単に自己紹介からお願いします。

東郷 板橋の東郷です。ダイコンとニンジン、水稻を主に作っている。高野 福原の高野です。コメと麦、小麦を作っています。

山蔦 山蔦です。南太田で乗馬クラブを営みながら農業をしています。野口 筒戸の野口です。ハウスでトマトを作っています。

海老原 中平柳の海老原です。トルコギキョウ、ハボタン、ヒマワリなどの花を栽培しています。

市長 皆さんよろしく申し上げます。では、まずマスターズ立ち上げのきっかけから話を聞かせてください。

### 地元に即した活動をする 農業者団体

東郷 農業の若手後継者団体で、4Hクラブというのが全国にあります。僕らはつくばみらい4Hクラブを卒業した、農業経営者です。メンバーは10人で、みんな就農して10年以上の経験があります。大産地だと作物ごとに「部会」というものがある、そこに属しているいろいろな活動していくのが普通の流れです。つくばみ

らい市には、トマト部会と花卉部会があります。トマトは自分で販売所を持っている人もいます。つくばみらい市では米、トマトのほかにも

麦、大根、ニンジン、白菜、キャベツ、ナス、トマト、きゅうりなどかなりの品目数が作られています。マスターズのメンバーも作っている品

目もバラバラです。逆にそれが特長なんですけど。露地栽培もあればハウス栽培もあるし、水稻栽培をメインにやっている人もいます。4Hクラブを卒業すると、なかなか農業者で

集まる機会もなかったもので、みんなでもう一度集まって、地元に着した活動をしよう、ということでのマスターズを立ち上げました。

山蔦 まさに地元愛。つくばみらい愛だよ。

市長 マスターズはどんなことをやっているんですか。

東郷 基本的にはCSR※です。市長 企業がやっているようなものと同じCSRですか。

東郷 そうですね。ただ私たちは、単に慈善ボランティアをする、というのではなくて、将来的に自分たちの活動にも利益になるような活動をしながら、地域に貢献していきたい、というところでやっています。

その一つに、新規就農者への支援があります。この地域は新規就農者が多いので、定期的に彼らの圃場を回って、色々な技術指導をしてい

※企業組織が利益だけを求めるのではなく、社会を構成しているもののひとつとして、社会的な影響に責任を持ち、社会をよくしていこうと努力すること